

## 活動報告

ガーデンを考える会 関東ブロックセミナー

「東京五輪への緑花業界の関わり」

2月16日（金）セキスイデザインワークス(株)にて、2020年東京五輪に向けて緑花業界の現状の動きと、今後緑花業界が関われる可能性について考えるセミナーを開催した

### 出席者（敬称略）

村雲俊作（豊明花き） 山川正浩（グリーン情報） 藤崎幹士・徳永起男・勝又瑞穂・山本麻里子（セキスイデザインワークス） 眞家道博（みのる産業） 小野隆（サイボー） 佐久間護（竹中工務店） 森山充（田島ルーフィング） 大塚淳一（グリーンディスプレイ） 上野和治（レイ・ハウス） 中島吉之（中島商事） 三浦和幸（シモジマ） 吉村定貢（大和プラ販売） 上野一志（上野緑化） 清水秀一（清水園芸） 細野康夫（細野ライフデザイン） 本田孝輔（リッチェル） 大橋浩介（NHK エデュケーショナル） 会田裕之（マーケティング・アシスト） 小野寺洋史（東京都農林総合研究センター） 羽田一生（メネデール） 西泉（花ごころ） 小久保仁（小久保園芸） 小高香（埼玉県本庄農林振興センター） 石田かな子（花屋 shida） 古積昇（古積造園土木） 竹本亮太郎（乃庭） 田中義一（フラワーオークションジャパン） 片平泰敏

合計 31 名、ガーデンを考える会員以外からの参加者も多数あり盛況であった

〔第一部〕 講演：夏に緑花でおもてなし

講師：早貸 秀樹氏（東京港埠頭株式会社 公園事業部公園事業課）

### 内容抜粋

- ① 東京港埠頭株式会社の仕事の重要なものに、臨海エリアの発展があり、それをふまえて「花と緑」のおもてなしプロジェクトを立ち上げた経緯の説明
- ② プロジェクトは2014年から2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、国内の造園・種苗・園芸関連企業や団体が協力して、技術の蓄積と情報発信の目的で始めたものであり「おもてなしガーデン」との名称である
- ③ おもてなしガーデンには推奨品種による実際の利用方法の提案目的の「修景ガーデン」と夏の過酷な生育環境に適した品種を選定する目的の「トライアルガーデン」がある
- ④ トライアルガーデンでは生育審査を行い評価をし、優秀な植物を「おもてなしセレクション」として情報提供を行っている
- ⑤ 今回のプロジェクトを通じ、サマーガーデンが全国に定着し、植物に関わる業界を活性化させていきたい

〔第二部〕 パネルディスカッション

- パネリスト
- ・ 早貸 秀樹氏（東京港埠頭株式会社）
  - ・ 今井 一隆氏（公益財団法人都市緑化機構）
  - ・ 平田 隆明氏（株式会社フラワーオークションジャパン）
- コーディネーター
- ・ 藤田 茂氏（有限会社緑花技研）

内容抜粋

- ① 藤田茂氏による「東京五輪と緑化業界のかかわり」について考察を紹介
  - ・ 東京五輪会場周辺の遮熱としての 日陰対策・壁面緑化・覆蓋緑化の有効性
  - ・ 会場周辺の花飾りに、キキョウなどの日本古来の花を使う提案
  - ・ 海外からのお客様が持ち帰れる、吊りシノブやコケ玉の紹介
  - ・ 日本らしい園芸資材（伝統園芸鉢）や園芸文化の発信の紹介
- ② 今井一隆氏による「都市の暑熱対策効果の改善に向けた都市緑化技術の開発・普及に向けた取り組み」の調査概要の紹介
  - ・ 調査対象の募集に当たっては、第一回目の募集は「自立構造物に対する壁面緑化技術」をテーマとして16企業の技術を公開テストし、植物の活力や緑被率などで、順調な成果がみられ実証調査に今後かかっていく事の紹介
  - ・ 第二回目の調査は「暑熱対策に資する自立型の緑化施設」をテーマとして募集し、今後実証調査を視野に入れて調査をしていく事の紹介
- ③ 平田隆明氏より、おもてなしガーデンは、夏の市場が冷え込む対策のきっかけにしたい事。五輪効果かイベントの予算が膨らんでおり市場は活性化しているように見えるので、このチャンスに市民の皆が花に触れる機会を増やしていきたい旨の話があった
- ④ フリーディスカッションでは、パネラーの方々へ数多くの質問や、ディスカッションが行われ、「品目だけでない品種の生育データを業界全体でまとめないといけないのでは」「業界全体でムーブメントを動かしていかないとサツキツツジと芝生ばかりの緑化になってしまう」等との意見が交わされた

セキスイデザインワークス 株式会社  
エクステリア営業所 藤崎 幹士